

都道府県名	07_福島県
市区町村名	07408猪苗代町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度に おける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
07408猪苗代町	③学校と家庭 の課題	02 放課後等 における多様 な体験活動	令和6年度から小学校が統合し、6校から2校となった。学校・学年の児童数が一気に多くなり、それまでの各小学校単位での活動内容とは違う形での実施を検討しなければならなかった。（内容・活動場所等）1年間実施したなかで、大人数だからこそ楽しめるものもあるが、一人一人への配慮が十分でなかった活動もあり、反省を踏まえた内容の検討が必要。	・安全安心な活動実施のためには、6年度の反省点を踏まえ、対象者及び内容の検討、活動場所の確保、大人数での活動でも児童が安心して過ごすことができる体制の整備が必要。そのための安全管理員について、現在登録している安全管理員には継続していただけるようお願いするとともに、新たに協力していただける方を、広報や知り合いを通じての声掛け等により募集する。	・安全管理員の適正配置	・地域の支援員・安全管理員に見守られながら、子ども達が安心・安全に楽しく活動できる。	安全管理員の人数	18	人	25	19	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 安全管理員については、広報や知り合いを通じての声掛けにより周知を行ったところであったが、従来からの安全管理員の高齢化により、継続が難しいという理由で辞退してしまった方もあった。 人数的には、目標である25人を達成できなかったが、当初より1人増の19人であり、各活動における安全管理員の配置についても、児童が安全安心で活動できる十分な人数を配置し、活動することができた。 年間を通じて、各校15回で30回の活動（放課後子ども教室）を実施しているが、毎回同じ方が協力してくれている傾向があり、高齢化等により協力も遠慮がちになっている安全管理員がいるようにみられる。しかし、活動を通し、子供たちの安全管理はもとより、安全管理員自身が子どもと触れ合うことでの生きがいづくりや楽しみにもつながっているため、より多くの方の参加を促していきたい。
07408猪苗代町	③学校と家庭 の課題	02 放課後等 における多様 な体験活動	統合後すぐの活動開始が難しく、スタート時期が6・7月と遅くなってしまったため、実施回数が予定より少なくなってしまった。	・活動始期を5月とし、月1～2回程度の実施により様々な学びの機会を設ける。	・活動始期を5月とする	・子ども達が学校以外でのたくさんの学びの機会を得る。	活動回数	13	その他	15	15	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 町内の2つの小学校において、5月からの活動を実施することができた。 年度当初の各校との打ち合わせにより、年間で15回の計画をたて、計画どおりに進めてきた。 レクリエーションゲーム・フラワーアレンジメント、しめ縄作り・水の実験・茶道体験・季節の行事での工作・切り絵・新聞ドームづくり・フラダンスなど、学校ではなかなか体験することができない内容をたくさん提供することができたが、毎回参加者を募っての実施であり、希望者のみの体験となってしまうこと、保護者からスクールバス下校を望む声もあることから、課題点については今後検討していきたい。
07408猪苗代町	②学校と地域 の課題	05 その他	中学校における地域学校協働活動事業について、学校主体、教員主体により実施してきた。	・推進員との連携により、より多くの地域の方々とのつながりを持ちながら、郷土学習・学習支援に取り組む。	・推進員の活用	・より多くの地域の方々のご協力のもと、郷土学習・学習支援に取り組む。	支援員（地域）	0	人	20	27	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた 中学校においては、農業職業体験・家庭科（郷土料理）・音楽科（筆の指導）・技術科（金づちとのこぎりの使い方）など、各教科学習において地域の方々のご協力をいただきながら実施することができた。 このほか、放課後や夏季休暇を利用した自主学習時間の見守りも実施し、たくさんの地域の方々にご協力いただいた。 今後も各教科での活動はもとより、推進員が学校と連絡を密にし、より多くの方々が活動に参加できるような体制づくりと人材発掘に努めていく。